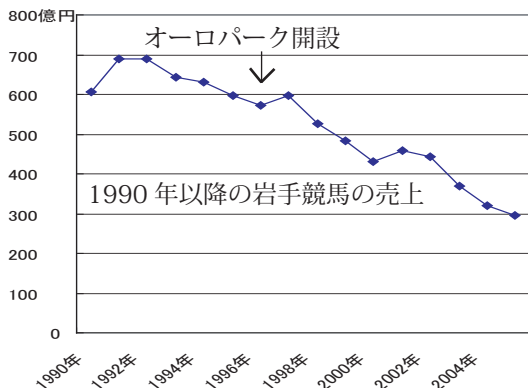




岩手競馬 経営責任を明らかに

経営責任を個人に請求できるルールをつくりましょう



借金の責任は当事者に

岩手県・盛岡市・奥州市は岩手競馬への三三〇億円融資を決定しました。盛岡市民一人あたり三万五千円の負担です。

私たちはこれに大反対です。その理由は、
①貸した税金が戻ってくるとは思えない
②経営者の責任がなんら問われていない
③貸し手としての銀行の責任も不問にされている

④「年度内でも赤字なら廃止」では存続案にすらなっておらず、「雇用対策にもなっていない、からです。

退職金をもらって『ドロン』を許すな

91年以降00年まで売上は下がっているのに役員報酬は高額維持。また04年から06年まで勤めた副管理者の年酬は千七百七十一万円、「経営不振の責任を取る」と06年の半ばで退職しましたが二年たらずで七百六十三万円の退職金まで持つて行きました。非常識すぎます。

責任度合いに応じた返還をお願いすべきです。

行政の経営責任について、ルール化を

今まで行政の経営責任を真剣に問われることはありませんでした。これが財政赤字の一因です。今、一番必要なのは、赤字の原因と責任の所在を明らかにすることです。

今回の競馬組合問題を契機に、行政とその他の外郭団体の経営責任を、請求できるルールをつくるべきです。

岩手競馬責任者の報酬と退職金額

	1991年	1992年	1993年	1994年	退職金		
副管理者A 報酬月額	71万円	71万円	76万円	76万円	1123万円		
	1995年	1996年	1997年	1998年	退職金		
副管理者B 報酬月額	78万円	78万円	78万円	78万円	1022万円		
	1999年	2000年	2001年	退職金	2002年	2003年	退職金
副管理者C.D 報酬月額	78万円	70万円	70万円	604万円	70万円	44.8万円	119万円
	2004年	2005年	退職金				
副管理者E 報酬月額	97.6万円	97.6万円	763万円				

1年10ヶ月で退職金763万円

しがらみがないから
はっきり 言います

市民に対して、責任をとる政治

【提案します・三つの改革】

● 社会保障改革

年金、医療、失業等の保険制度から、
最低所得保障制度へ（財源は税金から）

● 税制改革

総合累進課税の徹底で財源確保

● 地方自治改革

補助金行政をやめさせ、課税権・決定権を自治体に移譲

【実現したい・六つの項目】

● 景気対策・雇用

就業支援、起業支援制度
同一労働同一賃金の実施と指導強化
地域通貨の発行で地域循環型新金融経済システム

● こども

児童虐待、いじめ対策にチャイルドライン
放課後や土曜日に補習授業

● 生活

緩和ケア（ホスピス）医療の拡充
介護施設を中学校区ごとにつくる
六ヶ所村核燃再処理工場は操業中止

● 道路

自転車走行レーンの確保、通学路・歩道の整備

● 自治・まちづくり

行政などの経営責任の明確化
行政・市議会の情報公開
重大な決定は住民投票で決める
市民からの提案に調査研究費をつける
計画、立案からの住民参加

天下りの禁止 外部監査制度

● 国際紛争解決に、武力を行使しない

市民のための新しい党をめざす

市民会議

盛岡市青山 3-29-4

電話 019-645-8510

インターネット検索は [市民会議 盛岡]



ボランティアとカンパ大募集